

学校評価(自己評価と学校関係者評価)結果 (2018年度)

北海道キリスト教学園 リタ幼稚園

1. 本園の教育目標、教育方針

◎教育方針

キリスト教の人間観を土台にすえ、各年齢にふさわしい集団と環境の保障に配慮し、「遊び」を中心とした保育を行い、家庭や地域と協力しながら、子どもたち一人一人の全人格的な発達を促す。

◎教育目標

1. 豊かな愛の中で、目には見えないところを育む。
2. 一人一人“違う存在”であることを大切に
3. 「遊び」が子どもを育て、人としての土台を育む

2. 2018年度、重点的に取り組む目標・計画

教育方針、教育目標を職員が心に留め、子ども一人一人の思いや気持ちをしっかりと受け止める。また、遊びをとおして、子どもたちの創造力、想像力が育まれ、成長へとつながることを信じ、子どもたちとの歩みの中で具体化していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況と今後の対応
幼稚園教育要領、園の教育理念・教育方針を理解した上で、教育課程の編成にあたる。	幼稚園教育要領を学ぶ機会をなかなか持つことができなかった。教育要領、園の理念・教育方針について改めて学び、自分たちが目指している教育について確認していきたい。
個々の子どもたちの発達や課題について理解し、家庭との連携をとる	全体の保育の流れを大切にしながらも、その時その時の子どもたち一人一人の気持ちを受け止めることを心がけてきた。子どもたちの様子をノートやおたより、電話によって、また保護者と顔を合わせた時に伝えるように心がけてきた。保護者からの要望や不安などに関しても、丁寧に対応することを心がけた。子どもたちの豊かな成長のためには保護者の協力が欠かせないので、これからも保護者との連携を大切にしていきたい。子どもたちの個々の発達に対応するため発達支援の施設との連携を深めてきた。
健康・安全・危機管理	子どもたちが日常生活のために園内の清掃、換気、採光に気をつけてきた。おもちゃの配置も子どもたちが取り組みやすいよう、なおかつ安全であるように気を付けてきた。園庭の見回りは昨年度よりも改善できたが、まだ確認不足の箇所があった。地震による津波を想定した避難訓練を行った。9月の地震の時には、連絡網により安否確認、休園などの連絡を回した。しかし、停電により、つながらないご家庭もあった。その際には、訪問により連絡をした。今後、緊急メールの活用など実施していきたい。不審者に対する訓練を職員間で行った。
保育者同士が連携し、幼児を理解し、かかわる	個々の子どもたちの発達や課題について常に職員間で話し合い共有することを心がけてきた。子どもたちやクラスの様子に関する

	<p>情報交換を日々の保育後の打ち合わせや週一度の職員会議の中で行い、共通認識をもつように心がけた。必要な場合には、専門機関からの助言を受けた。次年度も継続して、取り組んでいきたい。</p>
<p>各研修会や研究会に積極的に参加し、保育者として向上する。</p>	<p>自分たちの保育の土台を確認するためにキリスト教保育連盟の研修会に参加した。子どもたちの遊びをより深めるために、定期的に「あそび」についての研修を外部講師を招いたり、研修会に出かけて行ったりして行ってきた。</p> <p>その都度、研修報告を各自がまとめて、自分が何を学んだのかを振り返ることをした。また、職員会議前には隔週で、園内研修を行った。保育の質を高めるためには、研修を重ね、学び、振り返り、共有することが欠かせないので、今後、さらに充実させていきたい。</p>

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>園の教育理念、教育方針、幼稚園教育要領をさらに深く理解する。</p>	<p>園の理念・教育方針の根幹であるキリスト教保育について、外部の研修や園内研修を通して理解を深める。また「遊び」の大切さを謳っている幼稚園教育要領の理解も研修を通して深める。</p>
<p>防災の意識を高め、深める。</p>	<p>防災計画を職員一人一人が把握し、災害時に共通した認識の中で行動できるようにする。災害時に起こりえる具体的な場面を想定した訓練を実施する。</p>
<p>子どもたちの様子や当園が目指している教育について、保護者や地域に発信していく。</p>	<p>保護者に対して写真を活用したクラスだよりやリタ通信で、園での子どもたちの様子がわかるように情報を発信していく。地域に向けては、新聞折込みにておたよりを発行し、より広く園のことを知っていただくために、ホームページのさらなる充実をはかっていく。当園が目指している教育について、保護者や地域の人々、またこれから入園を考えている保護者に向けて発信する手段として、専門家を招いて、教育講演会を開催することを計画していく。</p>
<p>子どもたちの教育に必要な施設整備を行う。</p>	<p>今後も、施設・設備に関しては、順次計画を立てて、更新していく。特に2019年度は外の遊具を一新する。それに合わせて遊具での遊びについての講演会を実施する。また室内遊びにおいては玩具や絵本などの環境をより充実させていく。</p>
<p>子育て支援の充実。</p>	<p>未就園児親子サークル「ぶれプレ」と「プレイサークル」をさらに充実させていく。次年度はさらに親子にとって楽しく安心できる場所になるよう心掛けていく。親子サークルの働きを通して、幼稚園教育に興味を抱いていただけるようにしていく。</p>

5. 学校関係者評価委員会の意見

- ・ホームページのブログの更新が滞っていたので、園のようすを少しでも知ってもらうためにも、次年度は頻りに更新して頂きたい。
- ・一年間を通して、若い職員たちのさらなる成長を感じた。次年度は新しい若い職員も加わるので、さらに職員たちが成長できるように努力していただきたい。
- ・先生たちが子どもたちのようすを常に共有し合って、保育に取り組んでいこうとしている姿勢がよく伝わってくる。保護者との連携も大切にしようとしているので、次年度も継続していただきたい。そして、地域に信頼される幼稚園をさらに目指して行っていただきたい。
- ・地域との関係づくりを大切にしたいとの思いをもっていることは、この地域にとってとても大切なことである。そのことを今後さらに突き詰めて行ってほしい。
- ・2019年度の園児募集をみると園児数がかなり、増加している。リタ幼稚園が年度ごとに保育を見直し、さらにより良い保育を目指して取り組みをしてきた成果の一つではないかと考えている。保護者に信頼を得ている証ではないだろうか。今後、より保護者との信頼関係を築いて行ってほしい。